

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—ウポイ
NATIONAL ANIM MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和4年6月10日

「わが村は美しく－北海道」運動 大賞審査開始

～第10回コンクール大賞審査委員会 第1回委員会を開催～

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動第10回コンクールで、**優秀賞を受賞した13団体の中から大賞候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を開催します。**

第10回コンクールでは全道60市町村から75団体の応募があり、優秀賞13団体、奨励賞20団体を決定し表彰しました（開発局ホームページで公表済み）。

コンクールの2年目となる本年度は、優秀賞13団体の中から大賞の表彰を行うこととし、大賞候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を開催します（詳細は別紙を参照ください）。

日時： 令和4年6月17日（金）13：00～17：00

場所： 北海道開発局 研修センター
（札幌市東区北6条東12丁目）

取材： 審査選考過程のため、傍聴、撮影は冒頭の挨拶までとさせていただきます。
取材を希望される方は、【別紙4】の取材申込書により6月15日（水）15時までにお申し込みください。
なお、表彰団体は9月下旬頃ホームページ等で公表する予定です。

<添付資料>

- ・【別紙1】：第1回委員会の開催について
- ・【別紙2】：大賞審査委員名簿
- ・【別紙3】：優秀賞受賞団体一覧
- ・【別紙4】：取材申込書

【「わが村は美しく－北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しており、支援の一環として、それらの団体を対象としたコンクールを開催しています。

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 伊原 陽一（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村振興第2係長 新津 由紀（内線 5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール大賞審査委員会 第1回委員会の開催について

6月17（金）に「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール大賞審査委員会第1回委員会を開催します。

1 コンクールの開催について

北海道開発局では、道内各地の住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村地域の発展に寄与することを目的に、平成13年から「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、この運動の一環としてコンクールを開催しています。

コンクールには、これまで全道172の市町村から1,247団体の応募がありました。

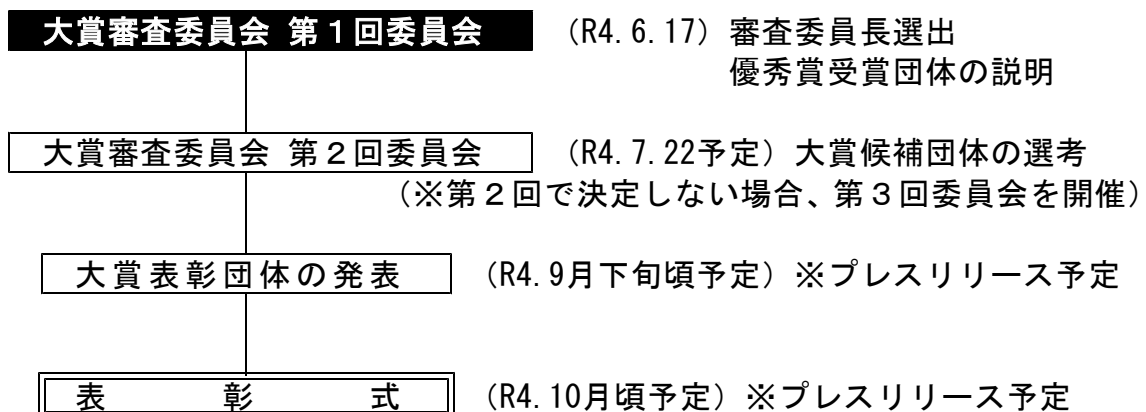
2 大賞審査委員会第1回委員会の開催について

第10回コンクールには、全道から75団体の応募があり、本年3月までに優秀賞13団体及び奨励賞20団体を表彰したところです。

コンクール2年目となる本年度は、優秀賞13団体の中から大賞の表彰を行うこととし、大賞候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を開催します。

- 日 時 令和4年6月17日（金） 13:00～17:00
（※審査選考過程のため、傍聴、撮影は冒頭挨拶までとさせていただきます）
- 場 所 北海道開発局 研修センター
（札幌市東区北6条東12丁目）
- 議事次第
- ・開会
 - ・農業水産部長挨拶
 - ・審査委員紹介
 - ・審査委員長選出、挨拶
 - ・審査議事（優秀賞受賞団体の活動概要説明ほか）

○大賞審査スケジュール



「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール大賞審査委員会

大賞審査委員名簿

(五十音順 敬称略)

小澤 丈夫 北海道大学大学院工学研究院教授
小林 国之 北海道大学大学院農学研究院准教授
鈴木 宏一郎 株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役社長
中井 和子 中井景観デザイン研究室 代表
NPO法人「わが村は美しくー北海道」ネットワーク 理事長
中島 則裕 生活協同組合コープさっぽろ 理事長補佐
原田 亜紀 オフィス R i C C A C R E A T I O N プランナー・エディター
藤田 二 北海道土地改良事業団体連合会 専務理事

優秀賞受賞団体一覧

ブロック	団体名	市町村	活動の概要
札幌	農猿	南幌町	南幌農産物の認知度の低さに疑問を抱いた若手農業者らが地域おこしや地産地消を目的に活動を開始。“農業を身近に感じられるイベント”を目指した農業型体験イベント「野祭～YASAI」を開催。「ゆめぴりか」の米粉でドーナツを製造する6次産業化や、軽トラの荷台に畑を作って収穫体験する等の食育にも力を注いでいる。
	そらち南さつまいもクラブ	由仁町 栗山町	さつまいもに着目し、新たな産地化を目指して由仁町、栗山町の若手農業者が町の垣根を越えて設立。品種比較試験と食味審査等から品種は「べにあずま」、ブランド名を「由栗いも」(ゆっくりいも)に決定。両町で「さつまいもフェスティバル」を開催し、町内飲食店とのオリジナルメニュー開発・提供等を実施している。
函館	奥尻高等学校オクシリイノベーション事業部 ×奥尻ワイナリー	奥尻町	奥尻高校は部活動の遠征費の確保と奥尻町の活性化に向けてオクシリイノベーション事業部を設立し、奥尻高校のTシャツの作成や商品ラベルの提案を行い函館での販売活動などにより地域特産品のPRに貢献している。(株)奥尻ワイナリーは、「離島」という条件に起因する若い人などの人口減少を食い止めるための地域興しの取組が原点。年間を通じた雇用機会の確保につながるほか、札幌の大学生を招いて地場の食材を使った料理の提案などの食育活動にも力を入れ、町内外との交流も生まれている。この2団体がわが村コンクールのへの応募をきっかけに共鳴し、協働の取組に発展した。
小樽	ベジタブルワークス株式会社	真狩村	真狩村の風土を生かした7種類の野菜を特別栽培での生産・仕入れ・加工販売及び採りたて野菜をできる限り早くに届けるため、自社便を運行して首都圏へ直送している。また、後志総合振興局と連携して、冬期間スキースキーリゾートで働く国内外の若者達を雇用しながら、後志地域全体で通年働ける仕組み作りに協力している。
旭川	富良野市立樹海学校	富良野市	地域の産業である畑作について学ぶ、「カボチャの栽培や販売」、地域のごみ拾いを行う「クリーンタウンプロジェクト」、SDGsの実践として「古紙・空ビン回収」、地域の景観の素晴らしさを見直す「ふらの東山フォトコンテスト」への参加など、様々な取り組みを、地域とともに実践している。
	けんぶちキヌア生産普及組合	剣淵町	キヌアの生産振興を図るため、栽培から収穫、製品化に関する一連の技術研究に取り組むとともに、生産者の所得向上を図るため、キヌアが備える優れた栄養成分や機能性についてPRしながら、市場調査や実需者との意見交換を行い、販売先を開拓している。
室蘭	北のなのはな会	安平町	菜の花関連特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料(バイオコークス)利活用の研究、菜の花による新たな観光地化を主な取組みとし、食育教育の推進、菜の花関連団体との交流・情報交換にも取り組んでいる。また、あびら観光協会主催の「菜の花さんぽ」に、後援として関わっている。
釧路	有限会社 仁成ファーム	釧路市	事業拡大を進める中、従業員の労働体系をどのような形にすべきか検討していたところ、地域の福祉事業者等と協議する機会があったため、2017年に設立された音羽協働センターに、牛舎内作業の一部委託を実施。障害を抱える人たちに通年の作業を確保している。
帯広	北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会	帯広市	十勝の農業資源を活用し、十勝の企業と連携することで、地域性にあふれ地域に求められる商品開発を行っている。今回は、老化に伴うフレイル予防効果やスポーツに励む若い世代をターゲットにして、オリゴ糖(DFAⅢ)とヨーグルトを使用した商品の開発・販売の事業化に向けて研究を進めている。
	ほんべつ豆まかナイト実行委員会	本別町	本別町の特産物である「豆」をテーマに、節分の時季にあわせ、「厄除け豆まき」を柱に多彩なイベントを開催し、豆のまち本別町から、豆の魅力を町外へ発信している。イベントで使用する大豆は、食育の一環として、地元の子供らが、種まきや収穫の体験を行っている。
網走	えづらファーム	遠軽町	42haの農地での畑作農業を基幹に、農業や農村の素晴らしさを広める為の様々な事業を展開している。 また、付加価値をつけた作物の通信販売・住込みボランティアの受入れ・農家民宿の経営・農場アクティビティの提供(畑ツアー、収穫体験、ピザ窯料理等)・農業を通じた企業研修の受入れ(東京のIT企業等)・農作物加工品の製造販売(冷凍じゃがいもの販売)を行っている。
留萌	北海道遠別農業高等学校	遠別町	遠別農業高校は宗谷、留萌管内唯一の農業高校として、日頃からプロジェクト学習通して地域の農畜産物や水産物に着目した商品の開発や、有機JAS取得とGAP認証を地域に先駆けて取り組むことで、農業を中心とした地域産業振興につながる専門学習を進めている。多くの場面で地域と連携することで、日頃の学習の必要性を再認識するとともに学習の成果を披露する場になっている。 遠別農業高校は遠別町はもとより、留萌管内地域課題の解決と活性化を目的として専門学習を行っている。
稚内	稚内農業協同組合 稚内牛乳	稚内市	稚内の牛乳の美味しさを地元の人に知ってもらいたいとの想いから、生乳生産から乳製品製造を一貫して行う「稚内牛乳」を考案。牛乳・アイスクリーム・ヨーグルトなどを販売し、稚内ブランドの普及につながる活動を行っている。

※富良野市立樹海中学校は、R4.4より、富良野市立樹海学校(小学校と統合)になりました。

<取材申込先>

国土交通省北海道開発局農業水産部農業振興課 宛て (FAX) 011-709-2145(E-mail) hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

取 材 申 込 書

『「わが村は美しく-北海道」運動 第10回コンクール大賞審査委員会 第1回委員会』の取材を希望する場合、本様式により、上記宛先までFAXまたはメール（本票ファイルを添付）でお申し込みください。

申込締切りは、6月15日（水）15：00です。

■会社名及び部署名	
■取材者	役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います） 申込受付後、当日の場所、集合時間を個別にご連絡いたします。
■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無	
■連絡先（代表者の連絡先）	

※ご記入いただいた個人情報については、本案件に関するご連絡以外では使用しません。